

2019年7月30日

SUBARU 新型「レガシィ」・「アウトバック」の米国生産を開始

SUBARUの米国生産拠点であるスバル オブ インディアナ オートモーティブ インク (Subaru of Indiana Automotive, Inc. 以下、SIA)は、米国現地 2019年7月29日、新型「レガシィ」(セダン)・新型「アウトバック」(クロスオーバーSUV)の生産を開始し、同日、工場敷地内にてラインオフ式を実施しました。

レガシィは1989年の発売以来30年、アウトバックは1995年の発売以来およそ四半世紀にわたり、SUBARUの北米市場での成長を支えてきた主力車種です。

今回それぞれ7代目、6代目を迎える両モデルは、車体剛性を最適化するSUBARU GLOBAL PLATFORMの採用で、高い動的質感を更に向上させるとともに、安全運転を支援するドライバーモニタリングシステム*の採用で安心感を高める等、北米市場での持続的成長の牽引役となるフラッグシップ車として更なる進化を遂げています。

SIAで生産された両モデルは、米国、カナダで2019年秋から発売が予定されています。

1989年の生産開始以来、SIAでのスバル車累計生産は400万台を超え、レガシィ、アウトバックの累計生産はそれぞれ124万台、235万台にのびります。

* 北米仕様システム名称:「DriverFocus」

【SIA 概要】

- ・ 所在地: 5500 State Road 38 East, Lafayette, Indiana
- ・ 設立: 1987年3月17日
- ・ 生産開始: 1989年9月11日
- ・ 資本金: 794百万ドル
- ・ 代表者: 取締役社長 荻野英司 (株式会社SUBARU 常務執行役員)
- ・ 従業員数: 6,108人 (2019年6月末現在)
- ・ 生産車種: レガシィ、アウトバック、インプレッサ、アセント
- ・ 生産車出荷先: 米国、カナダ



新型レガシィ



新型アウトバック

(画像はいずれも米国仕様)